

# 比売乃城の風

鹿児島第一中学・高校アルムナイ「一高会」会報 2026年6月号

## 8月に国分で同窓会開催 実利ある活動展開へ

拝啓 南国の梅雨空に紫陽花が映える今日この頃、皆さんお元気でお過ごしでしょうか？

ことしの一高会総会は、副会長の横山大介君（7期）と川井田新君（8期）の尽力で、8月8日土曜日夕方4時半より、JR国分駅前「ビジネスホテル舞鶴館」で開催する運びとなりました。参加申し込みは、LINEオープンチャットで受け付けています。詳細については、各期代表あるいは下記の事務局アドレスまで、お尋ねください。

去年の総会で宣言しましたとおり、一高会を単なる年1回のノンカタにするのではなく、卒業生や在校生にとって実のある活動を行う組織体とするため、後述のとおり、様々な取り組みを始めています。

皆さまのご理解とお力添えを賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。敬具

### アルムナイ（同窓生） ウェブサイト開設

1986年の高校創設から40年。総計3,963名にのぼる同窓生の中には、国内外で活躍する方も数多くいらっしゃいます。

その経験や叡智を、互いのビジネスや業務に活かすだけでなく、在校生の進路選択の一助にもしてもらおうため、情報の結節点となるサイトを開設しました。これまで17名の同窓生の方々にインタビューを行い、ご自身のキャリアや人生を振り返って頂きました。皆さまも、ぜひご一読ください。

<https://ichikokai.kagoshima.jp/>

なお、サイト立ち上げおよび取材・コンテンツ制作は、10期の松下尚道君が担当しています。松下君のポートフォリオは下記リンクをご参照ください。

<https://naomichimatsushita.com/>



母校から望む姫木（比売乃木）城跡

### 講師派遣事業 今年度は7月から

昨年度からトライアルでスタートした一高会の講師派遣事業。前述のとおり、各界の第一線で活躍している卒業生に、母校で在校生に講義してもらうものです。

目的は2つ。ひとつは、在校生たちが将来の進路を考えるうえで、身近な先輩の生き方を参考にしてもらうことです。来る7月13日（月）には、志布志貨物株式会社代表取締役の吉村望和君（10期）に講義を依頼しました。大学卒業後にふるさとに戻り、家業を継いだ吉村君。燃料費高騰や人手不足という厳しい環境の中で、約90年続く老舗企業をどのように導いていくのか。その経営哲学や生き様を後輩たちに熱く語っていただきます。

そして、もう一つの目的は、先輩と後輩の絆を深めてもらうことです。人口減少が加速し、人材難が深刻化する鹿児島。将来の採用を念頭に「超青田買い」も視野に、とりわけ経営者の皆さんがメリットを感じられるよう、事業の拡充を図っていきたく思いますので、ご期待ください。

【一高春秋】皆さん「島津」の歴史は何年続いたかご存じですか？他氏の支配を許さなかった鎌倉から明治までの700年と考える方も多いと思います。しかし平安時代、いまの都城を中心に日向・大隅・薩摩の開墾がはじまり、太宰府の役人だった平季基（たいらの・すえもと）が島津荘（しまづのしょう）を開いた1026年を起点とすれば、2026年はちょうど1000年の節目にあたります。▼ではなぜ島津は、1000年もの間、南九州を治めることができたのでしょうか。意外にも領内では、領主と家来、武士と農民といった身分や立場を超え、皆が一丸となって痩せた土地を切り拓き、実りを分かち合ってきたらしいのです。そして、その「分かち合い」の精神こそ、南九州の土着の文化であり、島津千年王国がつづいた理由なのかもしれません。▼私たちの母校の近くにも、そんな歴史を物語る場所があります。北に霊峰霧島、南に桜島を望む校舎。しかし北西方向に見える小高い山に気をとめる人はほとんどいないでしょう。標高は169m。その山頂に、かつて比売之城（ひめのき）と呼ばれた城跡があります。南九州一帯で共同体的な暮らしを続けていた「隼人」の民が、西暦720年、律令制を強いる朝廷に反乱を起こし、1年半も籠城した場所です。▼はるか縄文の昔に南の海から流れ着き、自然の恵みを分かち合う独自の暮らしと文化を守ってきた我々の祖先の歴史は、島津の時代も含め、支配する側とされる側に分かとうとする中央との戦いの連続でした。そんな孤高の歴史を今に伝える場所に母校は建っているのです。皆さんどうでしょう。自分たちのふるさとや母校が、少し誇らしく思いませんか？▼人間同士の生存競争が臨界点に達しようとする今、自分たちの起源に思いを馳せ、知恵を出し合い、みんなが幸せになれる世の中を創るきっかけにできれば——。この会報を「比売乃城の風」と名付けた理由は、そこにあります。（文責・茶園 謹白）



2026年度 鹿児島第一中学・高校アルムナイ「一高会」 [k.ichikoukai@gmail.com](mailto:k.ichikoukai@gmail.com)

【会長】茶園昌宏（5期）

【副会長】横山大介（7期） 川井田新（8期）